



県道麦倉川俣停車場線(中谷工区) 歩道整備

よ く わ か る
公 共 事 業

～ 公共事業の目的、効果、進捗状況を情報発信 ～



県道山王赤生田線(楠工区) バイパス整備

邑楽館林地域



一級河川多々良川 河川改修

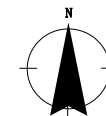
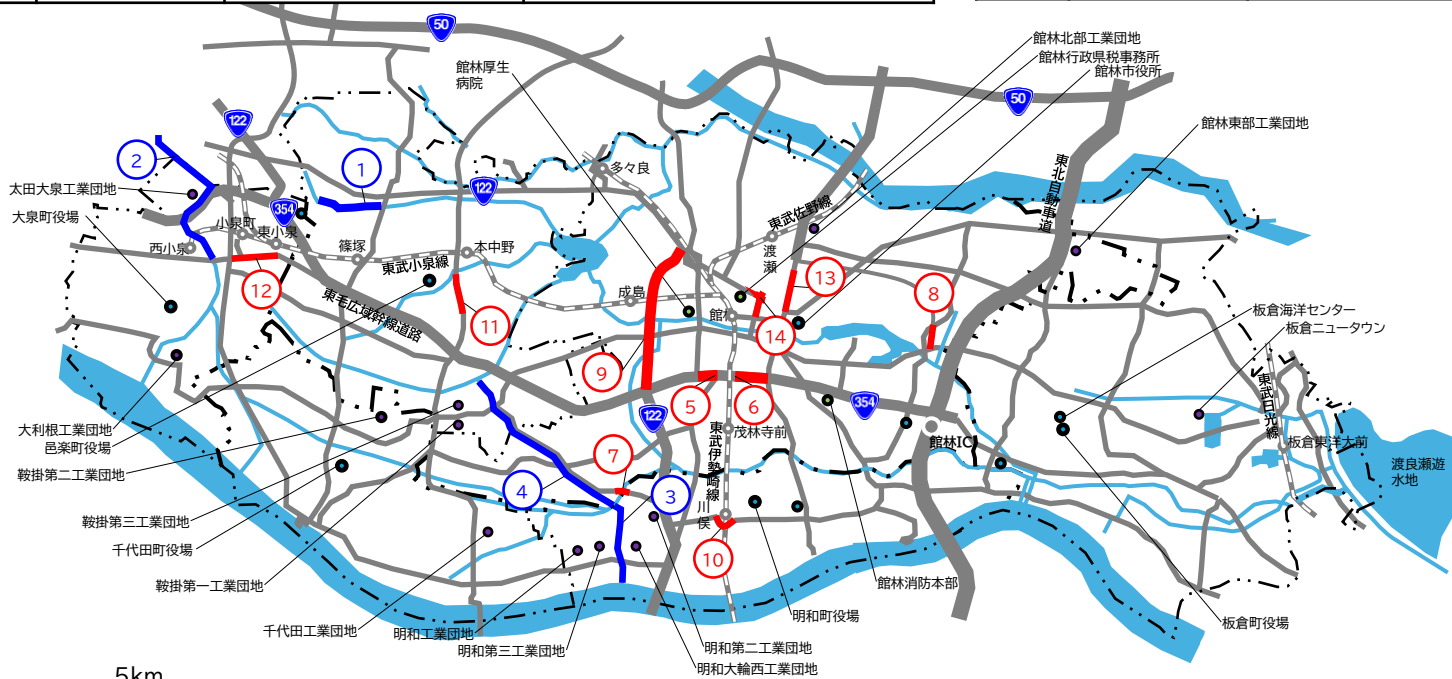
令和8年度版

邑楽館林地域



番号	事業内容	施工箇所	路河川名
1	河川改修	邑楽町中野～石打	一級河川多々良川
2	河川改修	大泉町西小泉 ～太田市内ヶ島町	一級河川休泊川(大泉工区)
3	河川改修	明和町須賀 ～入ヶ谷	一級河川新堀川導水路
4	河川改修	館林市入ヶ谷町 ～邑楽町赤堀	一級河川新堀川
5	電線共同溝	館林市小桑原町	国道354号(小桑原町工区)
6	電線共同溝	館林市緑町	国道354号(緑・美園町工区)
7	老朽橋梁架替	館林市入ヶ谷町 ～明和町入ヶ谷	県道矢島大泉線(谷田川橋)

番号	事業内容	施工箇所	路河川名
8	バイパス整備	館林市楠町	県道山王赤生田線(楠工区)
9	バイパス整備	館林市北成島町～苗木町	国道122号(館林バイパス)
10	歩道整備	明和町中谷	県道麦倉川俣停車場線(中谷工区)
11	歩道整備	邑楽町光善寺	県道足利邑楽行田線(光善寺工区)
12	電線共同溝	大泉町東小泉	県道綿貫篠塚線(東小泉工区)
13	電線共同溝	館林市大手町	県道佐野行田線(大手町工区)
14	歩道整備	館林市本町	(都)中央通り線



凡例

【事業分野区分】

- 道路事業 (Red line)
- 河川事業 (Blue line)
- 砂防事業 (Brown circle)
- その他事業(下水、住宅等) (Green circle)

【その他】

- 主要な防災拠点(第1次防災拠点)
- 主要な防災拠点(第1次防災拠点以外)
- 主要な物流拠点(産業団地)

どのような未来を目指すための事業か

河川氾濫による水害リスクを軽減するため

川幅を拡げて流せる
水の量を増やします

地元の声

- ・台風時に浸水による稲作への被害が発生しているため、堤防を造ってほしい。(地域住民)
- ・河川沿いの土砂が大雨のたびに流されるので、早く改修してほしい。(地域住民)

事業の概要

- 事業箇所: 邑楽町中野～石打
- 事業内容: 河道拡幅 築堤 延長2,900m
- 事業期間: 平成13年度～
- 事業着手前の流下能力: 約 7m³/s
- 計画流量 : 20m³/s

事業前

- ◆ 大雨の時は河川の水位が上昇し、浸水被害が発生するおそれがあります。



平成29年10月 (台風21号)



事業前の状況

事業後

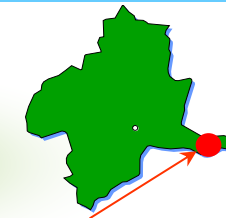
- ◆ 川幅を拡げ、流せる水の量を増やすことで、河川の氾濫による被害のリスクを軽減します。



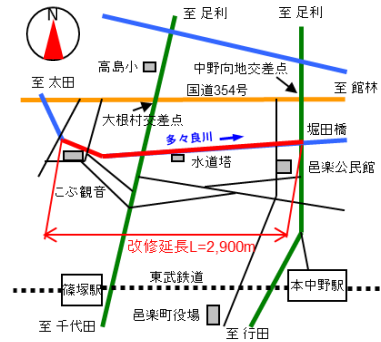
事業後のイメージ

成果を示す項目	実施前
想定氾濫面積	52.4ha
想定氾濫区域内の浸水戸数	104戸

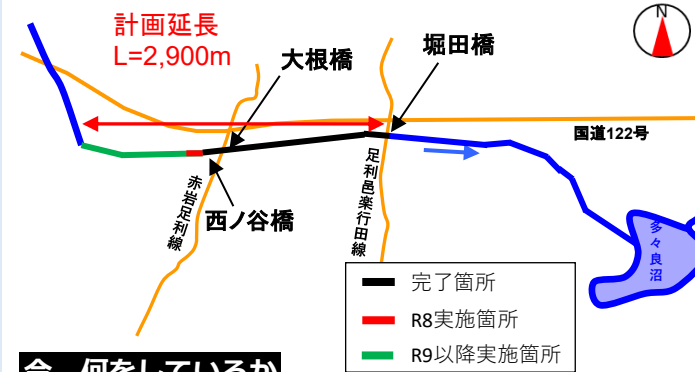
実施後(目標)
0ha
0戸



事業位置
邑楽町



事業の進捗状況(令和8年3月末現在)



今、何をしているか

令和8年度は、西ノ谷橋上流(左右岸)の護岸工事を実施します。



どのような未来を目指すための事業か

河川氾濫による水害リスクを軽減するため

川幅を拡げて流せる水の量を増やします

地元の声

- ・橋梁部分が狭く上流の水位がすぐに上がるので不安だ。(地域住民)
- ・台風の時などに川が溢れないか心配だ。(地域住民)

事業の概要

- 事業箇所: 大泉町西小泉～太田市内ヶ島町
- 事業内容: 河道拡幅 延長3,450m
- 事業期間: 平成4年度～
- 事業着手前の流下能力: 約27m³/s
- 計画流量 : 70m³/s

事業前

- ◆ 大雨の時は河川の水位が上昇し、浸水被害が発生するおそれがあります。



平成27年7月 (台風11号)

事業前の状況

事業後

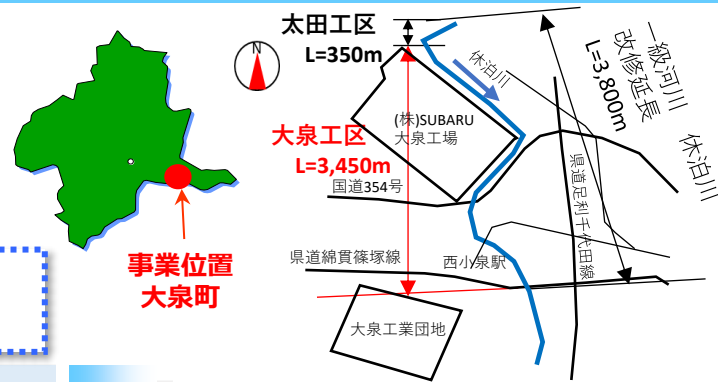
- ◆ 川幅を拡げ、流せる水の量を増やすことで、河川の氾濫による被害のリスクを軽減します。



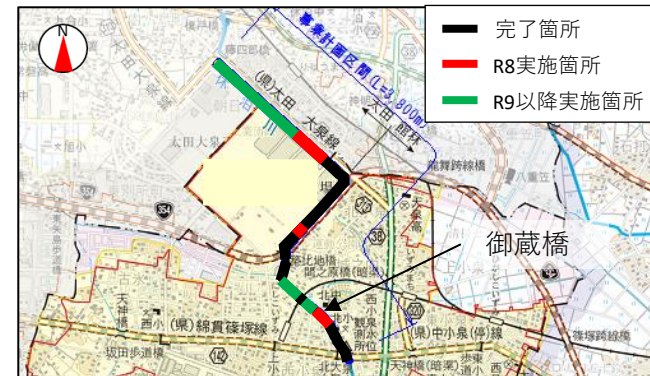
事業後のイメージ

成果を示す項目	実施前
想定氾濫面積	435ha
想定氾濫区域内の浸水戸数	4,725戸

実施後(目標)
0ha
0戸



事業の進捗状況(令和8年3月末現在)



今、何をしているか

令和8年度は河道拡幅のため、御蔵橋架替工事及び護岸工事を実施します。



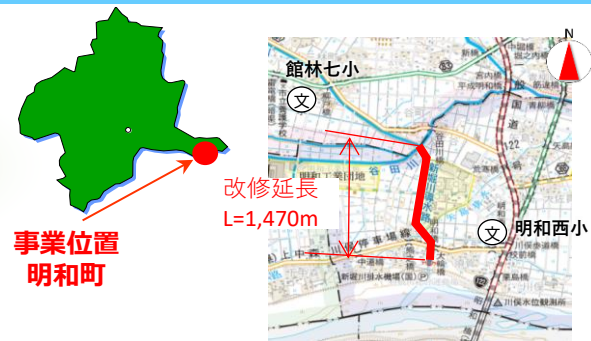
どのような未来を目指すための事業か

河川氾濫による水害リスクを軽減するため

川幅を拡げて流せる水の量を増やします

地元の声

・台風の時などに川が溢れそうで心配だ。(地域住民)



事業の概要

- 事業箇所: 明和町須賀～入ヶ谷
- 事業内容: 河道拡幅 延長1,470m
- 事業期間: 平成30年度～

- 事業着手前の流下能力: 約15m³/s
- 計画流量 : 25m³/s

事業前

◆ 大雨の時は河川の水位が上昇し、浸水被害が発生するおそれがあります。



事業前の状況

事業後

◆ 川幅を拡げ、流せる水の量を増やすことで、河川の氾濫による被害のリスクを軽減します。



事業後のイメージ

成果を示す項目	実施前
想定氾濫面積	233ha
想定氾濫区域内の浸水戸数	97戸

実施後(目標)
183ha
0戸

※一級河川新堀川および新堀川導水路河川改修事業の実施後による効果

事業の進捗状況(令和8年3月末現在)



今、何をしているか

令和8年度は、川幅を拡げる工事を実施します。



どのような未来を目指すための事業か

河川氾濫による水害リスクを軽減するため

川幅を拡げて流せる水の量を増やします

地元の声

・台風の時などに川が溢れそうで心配だ。(地域住民)

事業の概要

- 事業箇所: 館林市入ヶ谷町～邑楽町赤堀
- 事業内容: 河道拡幅 延長3,890m
- 事業期間: 平成30年度～
- 事業着手前の流下能力: 約10m³/s
- 計画流量 : 45m³/s

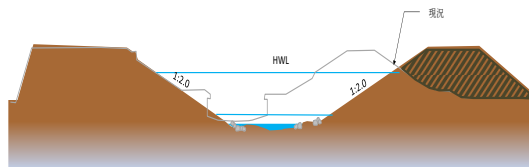
事業前

◆ 大雨の時は河川の水位が上昇し、浸水被害が発生するおそれがあります。



事業後

◆ 川幅を拡げ、流せる水の量を増やすことで、河川の氾濫による被害のリスクを軽減します。



成果を示す項目	実施前
想定氾濫面積	233ha
想定氾濫区域内の浸水戸数	97戸

実施後(目標)
183ha
0戸

※一級河川新堀川および新堀川導水路河川改修事業の実施後による効果



事業の進捗状況(令和8年3月末現在)



今、何をしているか

令和8年度は、河川計画の検討を実施します。



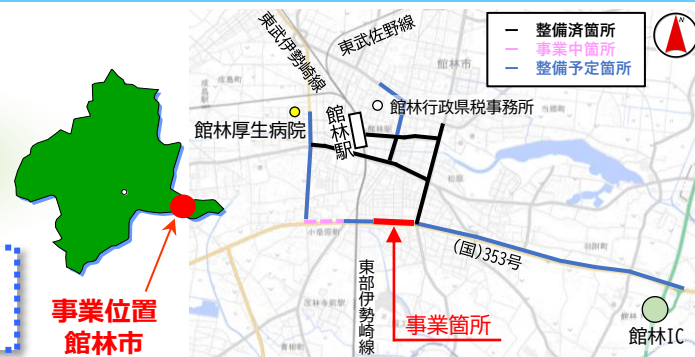
どのような未来を目指すための事業か

災害時にも機能する強靱な道路ネットワークを構築するため

電線を地中化して電柱を撤去します

地元の声

・東北自動車道にもつながる主要道路なので、災害時も通れるようにしてほしい。（地元住民）



事業の概要

- 事業箇所: 館林市緑町
- 事業内容: 電線共同溝 延長 1,240m
- 事業期間: 平成28年度～
- 現在の交通量: 27,100台/日(自動車) (令和3年度)
- 0人/12時間(歩行者)
- 2台/12時間(自転車)

事業前

◆電柱があるため、災害時に電柱が倒壊し、道路が寸断されるおそれがあります。



事業前の状況

事業後

◆道路上の電柱がなくなり、災害時の安全な通行が確保されます。

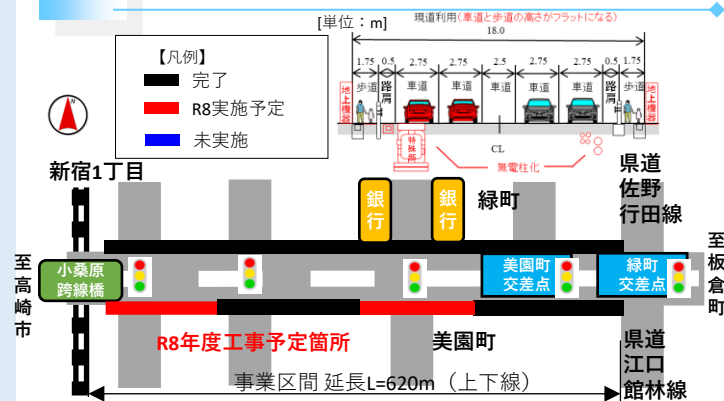


事業後のイメージ（館林市内）

成果を示す項目	実施前
交通拠点と防災拠点間(館林IC～館林厚生病院)の無電柱化率	0%
電柱倒壊のおそれ	あり

実施後(目標)
10%
なし

事業の進捗状況(令和8年3月末現在)



今、何をしているか

令和8年度は引き続き電線共同溝本体工事を実施します。



電線共同溝整備状況

事業継続中

どのような未来を目指すための事業か


インフラの健全性を次世代に引き継ぐため **老朽化した橋梁を架替えます**

地元の声
 ・橋が古いので地震で壊れないか心配。(地元住民)

事業の概要
 ■ 事業箇所: 館林市入ヶ谷町～明和町入ヶ谷
 ■ 事業内容: 老朽橋梁架替 橋長 35.5m 道路幅 9.2m (令和3年度) 16人/12時間(歩行者) 13台/12時間(自転車)
 ■ 事業期間: 平成27年度～

事業前

◆ 老朽化によって、橋の健全度が低下しつつあり、かつ耐震性が現行基準を満足していないため、大規模地震時に落橋等の可能性があります。



事業前の状況

事業後

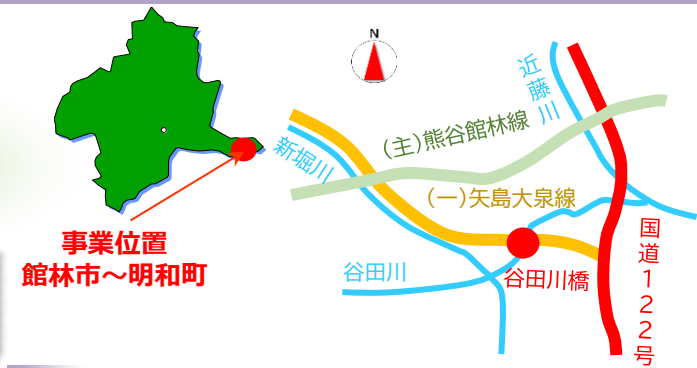
◆ 橋梁の架け替えにより、橋の健全性を改善するとともに、耐震性能を満足させ、大規模地震時における安全な通行空間を確保します。



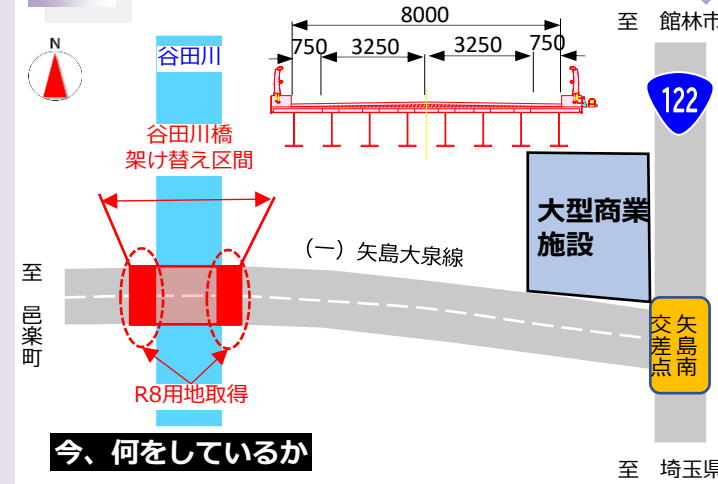
事業後のイメージ

成果を示す項目	実施前
大規模地震に対する耐震性能	耐震性能を満足しない
道路橋の機能の確保	主要部材(主桁等)に損傷あり

実施後(目標)
耐震性能を満足する
損傷なし



事業の進捗状況(令和8年3月末現在)



今、何をしているか
 令和8年度は、用地取得を進めていきます。



皆さんのうあこうだ くすのき 県道山王赤生田線 (楠工区) バイパス整備事業

事業継続中

どのような未来を目指すための事業か

安全で快適な移動を可能にするため

バイパス道路をつくります

地元の声

- ・東部環状線の早期開通を望む。(地元住民)
- ・館林市のバイパス事業と連携させ、より利便性の高い道路にしてほしい。(道路利用者)



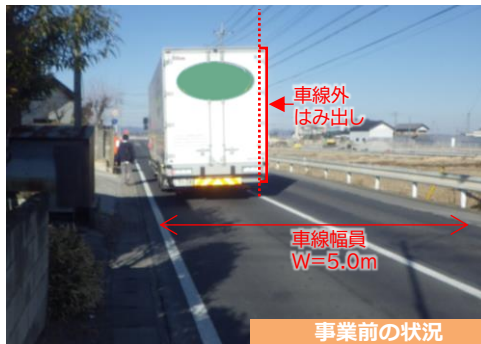
事業の進捗状況(令和8年3月末現在)

事業の概要

- 事業箇所: 館林市楠町
- 事業内容: バイパス整備 延長500m 幅員27.0m
- 事業期間: 平成23年度～
- 現在の交通量: 12,268台/日(自動車) (令和3年度) 28人/12時間(歩行者) 100台/12時間(自転車)
- 計画交通量: 16,500~18,400台/日(バイパス 自動車) (令和22年度)

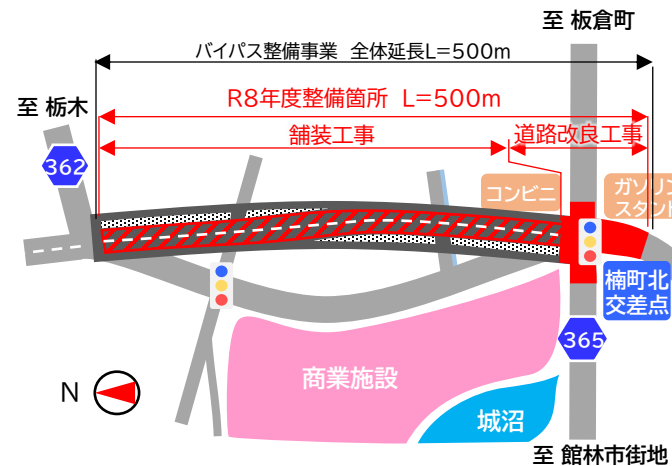
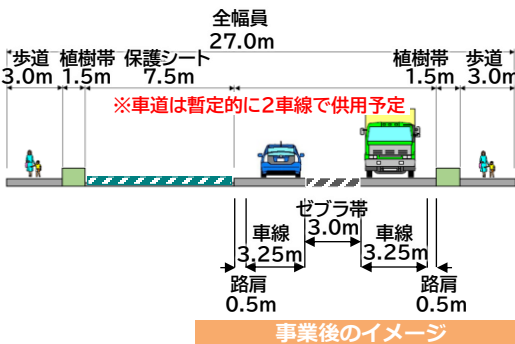
事業前

◆ 現況は道路幅員の狭い区間があることから、大型車両のすれ違いに注意が必要であり、円滑な通行に支障をきたしています。



事業後

◆ バイパス道路を整備し、大型車両のすれ違いを容易にすることで、円滑な通行空間が確保されます。



今、何をしているか

これまでに測量設計、用地取得が完了し、令和8年度は、バイパス開通を目指し、道路改良工事及び舗装工事を実施します。



成果を示す項目	実施前
車両同士のすれ違い	すれ違い困難 (幅員5.0m)

実施後(目標)
すれ違い容易に (幅員6.5m)

たてほやし
国道122号（館林バイパス）バイパス整備事業

事業継続中

どのような未来を目指すための事業か

安全で快適な移動を可能にするため

バイパス道路をつくります

地元の声

・朝夕を中心に交通渋滞が発生するため、地域間の移動時間を短縮してほしい。（地元住民）

事業の概要

- 事業箇所：館林市北成島町～苗木町
- 事業内容：バイパス整備 延長 3.2km 道路幅 24.5m
- 事業期間：平成27年度～
- 現在の交通量：16,621台/日（現道 自動車）
（令和3年度） 43人/12時間（現道 歩行者）
246台/12時間（現道 自転車）
- 計画交通量：7,100台/日（現道 自動車）
（令和22年度） 13,300～23,700台/日（バイパス 自動車）

事業前

◆ 市街地部で慢性的な渋滞が発生しています。



事業前の状況

事業後

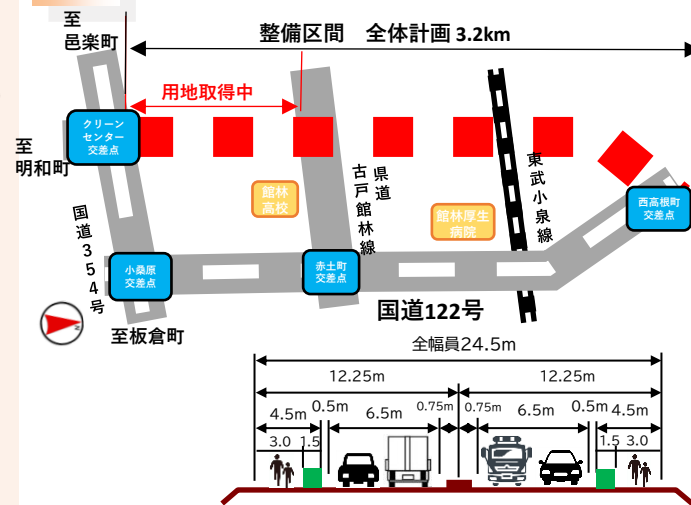
◆ 4車線のバイパスを整備することで市街地部の渋滞を緩和し、円滑な通行をできるようにします。



事業後のイメージ

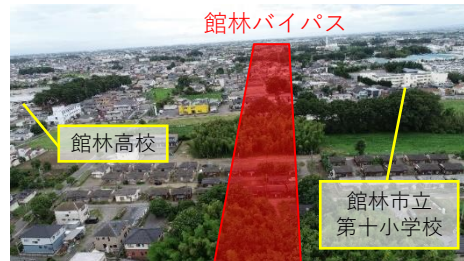


事業の進捗状況（令和8年3月末現在）



今、何をしているか

令和8年度は、引き続き、用地取得を行います。



成果を示す項目	実施前
移動時間 （館林工業団地⇄太田桐生IC）	43分
平均旅行速度	21.5km/h

実施後（目標）
38分（5分減少）
40km/h

事業のすすみ具合

事業開始

事業完了

どのような未来を目指すための事業か

こどもたちが安心して通学できる環境を確保するため

歩道を整備しました

地元の声

- ・ 小学児童が毎日通っているため、歩道を整備してほしい。（学校関係者）
- ・ 大型車の交通量が多いが、踏切前後の幅がせまくてうまくすれ違いできない。（地元住民）

事業の概要

- 事業箇所: 邑楽郡明和町中谷
- 事業内容: 歩道整備 延長290m、歩道幅員2.5m
- 事業期間: 令和元年度～令和7年度
- 現在の交通量: 4,579台/日(自動車) (R3年度) 39人/12時間(歩行者) 66台/12時間(自転車)

事業前

- ◆ 踏切部に歩道が無く、歩行者、自転車と自動車分離されていないため、交通事故のおそれがありました。



事業前の状況

事業後

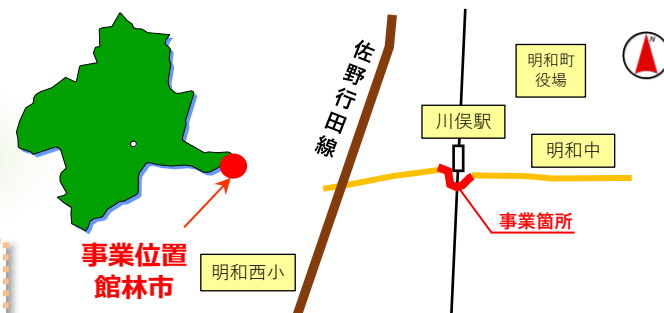
- ◆ 歩道を設置することで、歩行者、自転車と自動車を分離し、歩行者や自転車の安全な通行空間を確保しました。



事業後の状況

成果を示す項目	実施前
法指定通学路の歩道整備率	0%
幅員2m以上歩道の整備率	0%

実施後(目標)
100%
100%



事業の進捗状況(令和8年3月末現在)



事業完了

本事業は令和7年度に完了し、児童が安全に通学できるようになりました。



どのような未来を目指すための事業か

こどもたちが安心して通学できる環境を確保するため

歩道を整備します

地元の声

- ・大型車の交通量が多いが、歩道が無いので怖い。(地元住民)
- ・小学生が毎日通っているため、歩道を整備してほしい。(地元住民)

事業の概要

- 事業箇所: 邑楽郡邑楽町大字光善寺
- 事業内容: 歩道整備 延長660m、歩道幅員2.5m (令和3年度) 46人/12時間(歩行者)
- 事業期間: 令和元年度～
- 現在の交通量: 9,157台/日(自動車) 88台/12時間(自転車)

事業前

- ◆ 歩道が狭く、通学することもが交通事故の危険にさらされています。



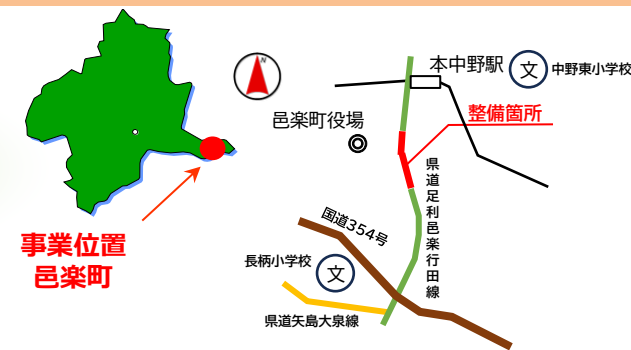
事業前の状況

事業後

- ◆ 歩道と自転車通行帯を設置することで、歩行者と自転車の安全な通行空間を確保します。



事業後のイメージ



事業の進捗状況(令和8年3月末現在)



今、何をしているか

令和8年度は歩道整備に必要な用地取得を実施します。



整備予定箇所

成果を示す項目	実施前
法指定通学路の整備率	20%
幅員2m以上歩道の整備率	10%

成果を示す項目	実施後(目標)
法指定通学路の整備率	100%
幅員2m以上歩道の整備率	100%

事業継続中

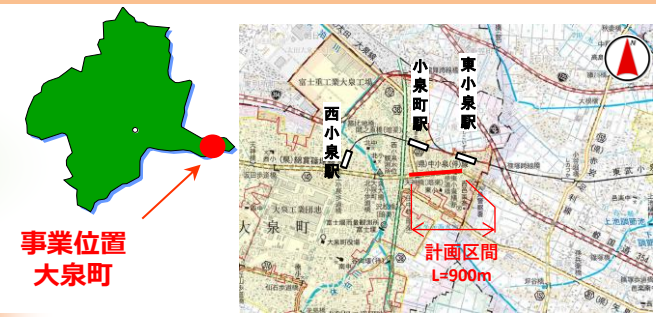
どのような未来を目指すための事業か

こどもたちが安心して通学できる環境を確保するため

電線を地中化して
電柱を撤去します

地元の声

- ・狭い歩道のなかに電柱があるため、通りづらい。(地元住民)
- ・高崎市と邑楽町を結ぶ幹線道路であるため、災害時も通れるようにしてほしい。(地元住民)



事業の概要

- 事業箇所: 邑楽郡大泉町東小泉
- 事業内容: 電線共同溝 延長1,800m
- 事業期間: 平成30年度～
- 現在の交通量: 14,614台/日(自動車) (令和3年度)
- 48人/12時間(歩行者) (平成27年度)
- 154人/12時間(自転車) (平成27年度)

事業前

- ◆ 電柱が歩行者の通行を阻害し、歩きにくい状況です。
- ◆ 災害時に電柱が倒壊し、道路を寸断するおそれがあります。



事業前の状況

事業後

- ◆ 道路上の電柱が無くなり、歩行者や自転車の安全な通行空間が確保されます。
- ◆ 災害時の安全な通行が確保されます。

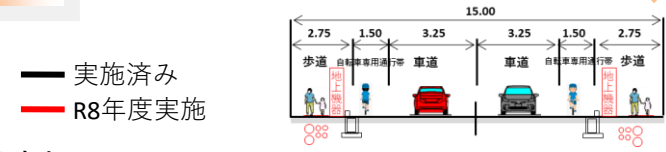


事業後のイメージ

成果を示す項目	実施前
歩行空間を阻害する電柱	あり
電柱倒壊のおそれ	あり

実施後(目標)
なし
なし

事業の進捗状況(令和8年3月末現在)



今、何をしているか

令和8年度は電線共同溝工事(電線を地中へ収容するための管路等の敷設)及び側溝布設替工事を実施します。



事業のすすみ具合



事業継続中

どのような未来を目指すための事業か

こどもたちが安心して通学できる環境を確保するため

道路を拡幅し、歩道を整備します

地元の声

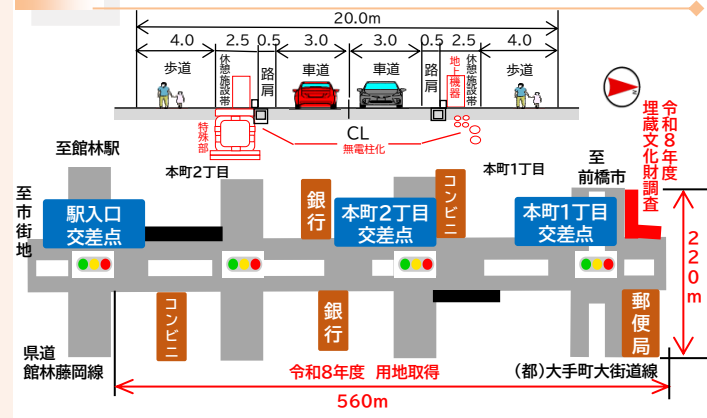
- ・歩道がないので、車や電柱にぶつかりそうで怖い。(道路利用者)
- ・子どもたちのために安全な道路にしてほしい。(地元住民)
- ・商店街を活性化してほしい。(地元住民)



事業の概要

- 事業箇所: 館林市本町
- 事業内容: 歩道整備 延長780m、幅員4.0m
電線共同溝整備 延長 1,180m
- 事業期間: 平成28年度～
- 現在の交通量: 7,795台/日(自動車)
(令和3年度) 61人/12時間(歩行者)
137台/12時間(自転車)

事業の進捗状況(令和8年3月末現在)



事業前

- ◆ 歩道が無く、歩行者は路肩を歩くため、交通事故のおそれがあります。
- ◆ 沿道に電柱が建っているため、歩行者の通行の妨げや、地震時倒壊の恐れがあるほか、商店街の景観を害しています。



事業前の状況

事業後

- ◆ 歩道設置により、安全な通行空間を確保します。
- ◆ 無電柱化、休憩施設帯、デザイン歩道等の整備により、商店街のにぎわいを創出する「歩きたくなる」魅力的な歩行空間を創出します。



事業後のイメージ

成果を示す項目	実施前
幅員2.0m以上の歩道整備率	0%
電柱倒壊のおそれ	あり
道路空間を活用したまちづくりの取組	なし

実施後(目標)	
幅員2.0m以上の歩道整備率	100%
電柱倒壊のおそれ	なし
道路空間を活用したまちづくりの取組	あり

今、何をしているか

令和8年度は、引き続き用地取得を進めるとともに、埋蔵文化財調査を実施します。



事業のすずみ具合

